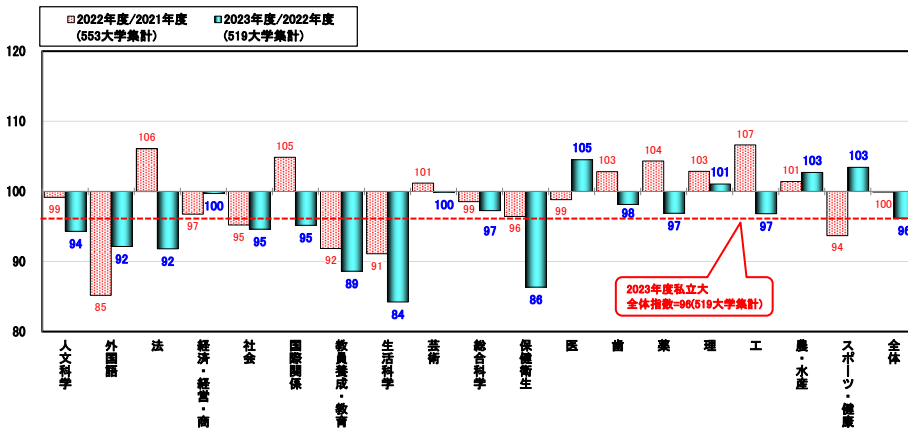


※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎系統別志願状況・合格状況

□志願者数は18系統中12系統が減少、特に生活科学、保健衛生、教員養成・教育は10%以上減少
〔私立大一般選抜 系統別志願状況〕



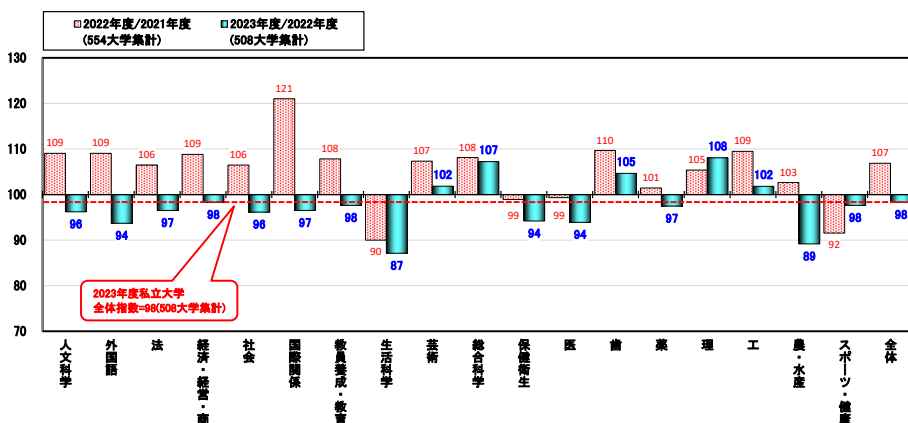
左のグラフは、私立大一般選抜の系統別の延べ志願者数の前年度対比指数の過去2ヶ年を表したものです。

駿台が集計した私立大519大学の志願者数(96)はやや減少です。系統別では、医(105)、農・水産(103)、スポーツ・健康(103)がやや増加、理(101)が微増、芸術(100)、経済・経営・商(100)は前年度並でした。

一方で、生活科学(84)は大幅減少、保健衛生(86)、教員養成・教育(89)、外国語(92)、法(92)は減少、人文科学(94)、社会(95)、国際関係(95)、総合科学(97)、薬(97)、工(97)がやや減少、歯(98)が微減で、18系統中12系統が減少と減少が目立っています。ただし、全体指数96との比較では上回った系統が10系統、下回った系統が8系統と均衡しています。なお、上回った系統で文系は経済・経営・商の1系統のみで、一般選抜では「理高文低」の傾向は明らかです。

それぞれの要因は、医はコロナ禍の影響が小さくなったことによる併願数の増加、スポーツ・健康は前年度の反動、農・水産は世界的な食糧問題への関心の高さなどから系統への人気の高まりなどが影響しました。一方で、生活科学はこの系統の学部・学科を持つ女子大の志願者数減少、保健衛生は順天堂大や愛知学院大の改組や畿央大の反動減とともに資格取得を重視する系統であることから確実な進学を意図した「年内入試」へのシフトなどが影響しました。

□合格者数は18系統中13系統で減少だが、全体では競争緩和
〔私立大一般選抜 系統別合格状況〕



左のグラフは、私立大一般選抜の系統別の延べ合格者数の前年度対比指数の過去2ヶ年を表したものです。

駿台が集計した私立大508大学の合格者数(98)は微減です。系統別では、理(108)は増加、総合科学(107)、歯(105)はやや増加、芸術(102)、工(102)は微増でした。

一方で、生活科学(87)、農・水産(89)は減少、外国語(94)、保健衛生(94)、医(94)、社会(96)、人文科学(96)、法(97)、国際関係(97)、薬(97)はやや減少、経済・経営・商(98)、教員養成・教育(98)、スポーツ・健康(98)は微減でした。

次に、「合格者指数-志願者指数」の値を見ると、18系統中14系統がプラスで合格者指数が志願者指数を上回り、競争緩和の系統が多くなっています。特に、総合科学〔+10〕、教員養成・教育〔+9〕の競争緩和が目立っています。一方で、農・水産〔-14〕、医〔-11〕は系統への人気も高いことから競争激化です。